

情報発信しよう

北海道福島会副幹事長 山 登 正 文



1996年に電子メールアドレス帳道南版に登録したのがきっかけで、東京にいながらにして、ふるさとの旬な情報を得る機会に恵まれてきた。今では携帯電話やスマートフォンでいつでも簡単に利用できるインターネットであるが、当時はアナログの電話回線を利用して、電話料金の安い深夜から早朝の時間に利用することが普通であったのが懐かしい。

今思えば、日本のインターネット黎明期にありながら、地域の活性化にインターネットが有用であることを、電子メールアドレス帳道南版に登録した会員の様々な活動は示してきたと思う。残念ながら電子メールアドレス帳道南版は2007年にサービスを停止したが、今でも多くの会員は様々な場につながっている。

我がふるさと福島町の佐藤町長も電子メールアドレス帳道南版の登録会員で、町長にな

られるずっと以前からインターネットを通じての知り合いであった。現在はフェイスブックでも「友達」である。最近はお会いする機会に恵まれなかったが、平成25年4月に開催された第13回北海道福島会総会で久しぶりに再会を果たすことが出来た。限られた時間ではあったがいろいろなお話をすることができ、楽しい時間を過ごすことができた。

最近では福島町のご当地キャラ「するめ」のブログやツイッターが人気のようである。様々な情報を発信し、それに共感することで人はつながり、そして元気になる。ふるさととは過疎化まっしぐらではあるが、インターネットという便利なツールを使い、人と人のつながりを築くことで、まだまだ元気になれるんじゃないかなと最近感じている。

そう、東京組もふるさとのためにもっと情報発信しようじゃないか。

ご当地演歌「余市の女」とシリパ岬

東京余市会副会長 福 島 演 雄



東京余市会は会員数180名で春の総会と秋のグルメの会を開いて、夫々50〜60名が集まり、ニッカウキスキーのグラスを片手に、余市の林檎や甘海老の薫製を賞味しながら、ふるさとを思い出し、懇談しています。

最近の会員の話題は、水田竜子さんのご当地演歌「余市の女」と当会会員坂井忠康氏（世田谷美術館館長）の郷土物語「積丹半島記」です。「余市の女」の中に出て来るシリパ

岬とローソク岩は余市にいた時は絶えず見ていたので、この歌を聴いたり、歌う度に、昔を思い出します。これがご当地ソングの良いところでしょう。

『積丹半島記』の中に、大正10年ころのニシシが砂浜に打ち寄せられた写真があります。その写真の背景にシリパ岬があり、現在のシリパ岬と海側のすそ野の形が変わっているのが分かります。正確な資料は無いが、これは

平成15年のシリパ岬



大正10年のシリパ岬



浸食、崩落により自然に形が変わったのではなく、建設用の採石として削り落としたものらしい。そうであれば自然保護の立場から、非常に残念なことです。

ホッとするとおいしい。北海道からおとけします。



北海道 ださんプラザ
Hokkaido Dosanko Plaza

東京交通会館1階

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号
[JR山手線有楽町駅1分、東京メトロ有楽町線有楽町駅3分]
TEL. (03) 5224-3800 FAX. (03) 3217-0411 [www.dosanko-plaza.jp]
■営業時間/午前10時～午後8時 年中無休（年末年始を除く）

北海道各産地自慢のこだわり
農産物・海産物
北海道ならではの
肉加工品
人気の
北海道スイーツ
全道から種類も豊富な
牛乳・チーズ
評判のこだわり
ワイン・日本酒
ほかにも、おいしい
北海道が豊富です。

モリエールグループ

☆ 東京都新宿区新宿3丁目31-5 ベガサビル
3F パブ アフターシックス TEL 03-3356-6688

北海道ロビー会 毎月11日 6～8時（2月・8月休み）
北海道にゆかりのある人なら誰でも参加できる気楽な飲み会です。（男/4,000円 女/3,000円）
飲み、食べ、歌い、牧遊で楽しい一夜を。詳しくはお電話下さい。（担当 清水）

増田商事株式会社

代表取締役 増田 裕二（東京小樽会）

〒160-0022 東京都新宿区新宿3丁目33-10 新宿モリエールビル3F
TEL 03-3352-6015
FAX 03-3358-5354